

8. まとめ

本資料では、ジオセルを用いた堤脚安定工について、工法の特徴や施工手順等を示すとともに、同工法により期待される効果の検証を行った。ジオセルを用いた堤脚安定工の効果を下記に示す。

- 「軽量・コンパクト」、「簡単施工」、「フレキシブルな構造」により施工上の制約が少ない。
- 工事費、施工日数の面でも、既存工法に比べて優位である。
- モデル堤防を対象として裏法すべり破壊に対する効果を検証した結果、すべり安全率向上の効果を確認することができた。特に、堤防高 4～5m より低い場合に優位な結果となり、中小河川等の比較的小規模な堤防に適用した場合に効果を発揮する。
- 同様に、パイピングに対する効果を検証した結果、中詰材に透水性の高い材料 ($k=1.0 \times 10^{-3} \text{m/s}$ 程度)を用いることで、局所動水勾配が緩和された。

既設堤防への本工法の適用にあたって、既設堤防及び基礎地盤の土質条件に留意し、本資料で示した手法により効果を検証されたい。